

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	グループホーム委託(補助)事業	所管	保健福祉部 障害福祉課
			TEL 2998-9116

事業の目的 (何の為に 行うか)	地域で共同生活を営む知的障害者に対して援助を行い自立生活を助長する。
------------------------	------------------------------------

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	療育手帳所持者	対象とした数	2,143	人
		実際に 利用した数	7	人

活動の内容	(何を したか)	<p>【市立施設『ゆきわり草』に障害福祉サービス費で賄いきれないグループホーム運営費を支給する事業。また、グループホーム利用者には家賃補助(月額30,000円を超過する部分)を行う事業】</p> <p>1 グループホーム入居希望者及び家賃補助希望者は、市に申請する。</p> <p>2 市は、補助の適否を決定し、委託料(ゆきわり草)及び家賃補助金を支給する。</p> <p>3 家賃補助受給者は、年度末に市へ実績報告書を提出する。</p> <p>【自立心の向上および地域生活の支援を図る為、市立施設『ゆきわり草』に体験入居を行う事業】</p> <p>体験入居利用希望者は市に申請を行い、市は利用者の登録を行って、利用者票を交付する。</p>							
	活動実績	項目名	施設利用者数	7	項目名	体験入居日数	101	項目名	
			----- 単位 人			----- 単位 件			----- 単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	8,832	8,832	9,584	28.3

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	体験入居の年間実施割合	体験入居日数 ÷ 365 × 100	100	27.7	27.7
			----- 単位 %	----- 単位 %	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []				
		終了 ⇒ 事業完了		終了		休止
	予算	* 現状どおり 増額		減額		終了

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合		改善・効率化 改善余地なし		その他 [] 終了
		予算	現状どおり 増額		減額	

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	040300	TEL	2998-9116
事業コード	グループホーム委託(補助)事業	担当部課	保健福祉部 障害福祉課			
040325		グループ	障害者支援担当			
開始年度		平成 5 年度	→	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		<input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 法定受託+附加		根拠法令	
	分野別計画・指針	所沢市障害者計画、所沢市障害福祉計画				所沢市障害者グループホーム条例、所沢市障害者グループホーム条例施行規則、所沢市知的障害者共同生活援助等家賃補助事業実施要綱			
	関連・類似事業	生活ホーム補助事業(障害福祉課)							
	総合計画の体系	政策	第3章 豊かなくて健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	4節 障害者福祉	中柱	2 福祉施策の充実	小柱	(3)施設利用サービスの充実
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 26 位		・実施計画における位置づけ…		H19	<input type="radio"/>	H20	<input type="radio"/>	
行政改革大綱における行動計画への位置づけ									
コード	3261	事務事業見直しの推進	コード		コード				
事業開始の背景		知的障害者の自立生活を助長するために、共同生活を営む場を提供する必要があることから始められた。平成15年度に事業の一部が支援費制度に移行し、平成18年度に自立支援法に基づく障害福祉サービスに移行した。							

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)								
	地域で共同生活を営む知的障害者に対して援助を行い自立生活を助長する。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)				利用数の考え方				
	療育手帳所持者				施設利用者数(体験入居を除く)				
	対象数	単位	平成 18 年度	2,023	人	利用数	単位	平成 18 年度	7
		平成 19 年度	2,143	人			平成 19 年度	7	人
事業の具体的な内容及び実施方法									
【市立施設『ゆきわり草』に障害福祉サービス費で賄いきれないグループホーム運営費を支給する事業。また、グループホーム利用者には家賃補助(月額30,000円を超過する部分)を行う事業】									
1 グループホーム入居希望者及び家賃補助希望者は、市に申請する。									
2 市は、補助の適否を決定し、委託料(ゆきわり草)及び家賃補助金を支給する。									
3 家賃補助受給者は、年度末に市へ実績報告書を提出する。									
【自立心の向上および地域生活の支援を図る為、市立施設『ゆきわり草』に体験入居を行う事業】									
体験入居利用希望者は市に申請を行い、市は利用者の登録を行って、利用者票を交付する。									

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>							
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])						
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)						
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
平成19年度中に改善した点								
前年度に引き続き、グループホームと連携を図りながら、補助事業を実施した。								

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		8,832	8,832	8,112	
	決 算 (見込み含む)		6,471	8,832		
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人)	(人)	(人)	(人)	
	正規職員人件費		0.05 人	460	0.08 人	752
	公債費					※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	事業費合計		6,931	9,584		
	財源内訳	一般財源		6,869	9,514	8,042
		国・県支出金				
		受益者負担金		62	70	70
	市債					
	その他					
市民一人当たり(単位:円)			20.5	28.3		
利用数一単位あたり(単位:円)			990,142.9	1,369,074.3		

⑥指標	項目名	計算方法	単位		H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	施設利用者数	実績による	人	/	7	7	7	
		体験入居日数	実績による	件		96	101	130	
	成果分析	体験入居の年間実施割合	体験入居日数÷365×100	%	目標値	100	100	100	
					実績	26.3	27.7		実績値の拡大を図る1
達成率					26.3	27.7		実績値の縮小を図る2	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		受託業者(藤の実会)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題	指定管理者制度の見直しが平成21年度になっており、それまでに貸し館業務以外の福祉施設における指定管理者制度の見直しを行う必要がある。				
評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)		
	平成20年度における目標設定	指定管理者制度運営に関わる部内での検討。	指定管理者を指名する。	平成20年度末	
		新体系への移行に関わる指導・助言。	移行計画書の提出。	平成20年度末	
平成21年度における事業の方向性					
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])				
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由					
平成20年度の予算措置は現状どおりとするが、施設基準が緩和されたことに伴い、今後グループホームへ移行する施設が増加し利用者の増があった場合は、家賃補助について増額することになる。					
評価日	平成20年4月30日	記入者職氏名	障害福祉課長 森田 昇		

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了					
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
	評価理由	評価日					
⑨評価	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
評価理由	評価日						<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード	
	基本目標				
	主要課題				
	施策の方向				